

本音の コラセ



くらた まゆみ
倉田 真由美

私が子供のころ、「覚醒剤」とはとてつもなく恐ろしい「毒」だった。

「覚醒剤やめますか。それとも、人間やめますか」というインパクト抜群のCMを、いまだに覚えていた人は多いだろう。もしかしたら今では、「人間やめますか」というコピーは、人権云々の問題で放送できないかもしれないが。

「覚醒剤」「シャブ」という直接的で乱暴な言葉に代わり、「ドラッグ」というソフトな名称が流通してから、薬物のイメージが変わってきた。流行に敏感な若者の間で流通する、ちょっとしただけ危険でオシャレな遊びであるかのようなイ

「覚醒剤やめますか」

メージ。気軽に手を出してしまふ人が増えたのも、イメージの変化によって、手を出す際の最初の垣根が低くなってしまったせいもあるだろう。

「スピード」「エクスタシー」「エル」といった耳当たりのいい名称もよくない。流通させたい側の思惑に、まんまと乗せられてしまっている気がする。実際には違法薬物には様々な種類があり、それぞれに原材料や、体に与える影響も違うようだが、そんな名称では素人には区別がつかない。

押尾学容疑者や酒井法子容疑者の薬物問題が大々的にマスコミに取り上げられた。「大袈裟に騒ぎすぎ」という意見もあるようだが、「薬物使用は恐ろしい結果を招く」というメッセージを撒く効果は、あったのではないだろうか。(漫画家)